

読谷村より 1,700円の助成※ があります。

大腸がん検診(便検査)は課税世帯で個人診療の場合、2,200円 かかる検査ですが、40歳以上の方(昭和61年3月31日までに生まれた方)が村の検診を受けると、村から1,700円の助成を受けていることになります。(自己負担500円)

検査費用
約 2,200円
助 成 金
— 約 1,700円
自己負担金
500円

※ 現金が支給されるわけではありません。

今年度の受診期限は、
令和9年3月31日

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。
お早めにご予約・ご受診ください。

大腸がん検診の流れ (医療機関での個別健診)

1. 受診場所を選ぶ

医療機関リストから選択。
医療機関へ直接、電話予約をする。



読谷村ホームページ

2. 医療機関に検査容器と問診票を取りに行く

3. 自宅で便を2日間採取

4. 検査容器と問診票を医療機関に提出

5. 検査の結果※

約2～3週間程で結果が出ます。
検査結果を確認してください。
「要精密検査」という結果が出た場合は、
必ず医療機関で精密検査を受けてください。
精密検査の第一選択は全大腸内視鏡検査です。

※ 検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます。(医療機関の検診精度向上のため)

読谷村健康福祉部 健康推進課

〒904-0392 読谷村字座喜味2901-1
TEL 098-982-9211 FAX 098-982-9210

第2.0版

令和8年度 読谷村

大腸がん
検診の
お知らせ

大事な検診、
必ず受けてください



テレビ番組のご案内

がん検診受診率向上＜希望の虹プロジェクト＞ 希望の虹プロジェクト
静岡社会健康医学大学院大学 満田友里准教授が制作に協力!

NHK あしたが変わるトリセツショー「がん対策のトリセツ2026」
2026年9月3日(木) [録画] 19:30～放送予定

読谷村も参加しています



専門医に聞きました。 大腸がんについて、3つのポイント

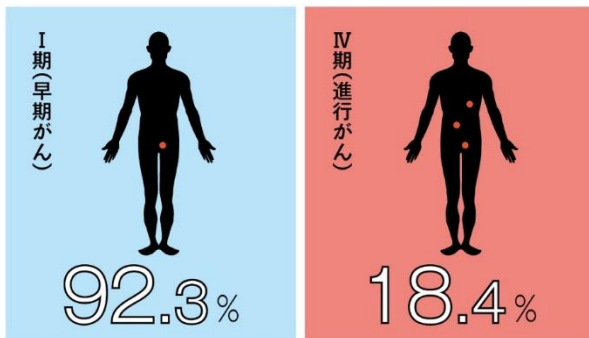
POINT
01

「早く見つけて、
早く治す」

早期のがん^{*1}の段階で治療すれば、
90%以上が治ります。^{*2}

大腸がんは、早期で発見すれば、多くの場合負担の少ない内視鏡での手術で治療が可能です。入院は2～3日、または必要ない方もいらっしゃいます。大腸がんの発見と治療は、早ければ早いほど負担は少なく済みます。しかし、進行してがんが肺などに遠隔転移した後に発見すると、生存率は大きく下がってしまいます。

〈生存率〉



※1 ここでいう「早期」とは、がんの進行度を0～IV期に区分した病期分類（TNM分類）におけるI期を意味します。（IV期に近いほどがんが進行している状態です）

※2 ここでいう「治る」とは、診断時から5年後に生存している状態を示します。
出典：2014-2015年院内がん登録5年生存率報告におけるネット・サバイバル（純生存率）

このリーフレットは、がん検診受診率向上<希望の虹プロジェクト>が作成しました。

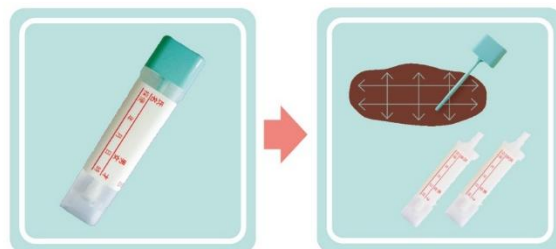
POINT
02

「自宅で
簡単にできる」

大腸がん検診は便の検査^{*3}です。

大腸がん検診は自宅で簡単にできる
便潜血検査です。内視鏡ではないですよ。

「大腸がん検査って、お尻からカメラ入れるやつでしょ」って誤解してる方多いんです。最初の大腸がん検診は自宅で簡単にできる検便です。トイレで便を2日間採取して医療機関に提出するだけ。それで異常が見つかった場合のみ、医療機関で内視鏡の検査をするんですよ。



検査キット

容器のフタについた
棒で便の表面を採取

注）痔の方もお受けください。現在明らかな出血や痛みがある場合は時期をずらして受けることをおすすめしますが、そのような症状がない場合は検査結果にはほぼ影響がありません。

※3 検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つけられない場合もあります。

POINT
03

ほとんどの大腸がんは
早期のうちには

「自覚症状がありません」

みなさん「血便がでたら」とか
「異常を感じたら」病院に行こうって
おっしゃるんですが、大腸がんは、
早期には自覚症状がないんです。

日本では毎年約15万人が大腸がんにかかり^{*4}5万人が命を落としています。^{*5} 早期には自覚症状がないので「異常を感じたら」では、手遅れになる場合があります。検診は毎年定期的に受けてください。もちろん、血便、腹痛、便の性状や回数が変化した、などの症状がある場合は次の検診を待たずに病院に行きましょう。

女性の方へ

大腸がん罹患する人が増加しており、女性の部位別がん死亡数第1位。男性でも肺がんに次いで死亡者数が多いです。^{*5} 検診を受けることでがんによる死亡リスクが減少します。命を守るため、大腸がん検診を必ず受けてください。

※4 出典：国立がん研究センターがん情報サービス「がん統計」（全国がん登録、2021年）

※5 出典：人口動態統計（2023年）

